

エコアクション21 環境経営レポート



発行日：2024年6月30日

対象期間：2023年6月～2024年5月



株式会社フジタ建設コンサルタント



®環境省
エコアクション21
認証番号 0007730

取組の対象組織・活動

(1) 名称及び代表者名

株式会社フジタ建設コンサルタント

代表取締役 藤田 達也

(2) 所在地

本 社 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字原87-1

阿南営業所 〒774-0017 阿南市見能林町青木148-7

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者及び担当者 管理部 総務課

TEL:088-698-2155

(4) 事業活動の内容

一般公共構築物に関する設計、測量、調査及び補償業務

登録事業名	登録番号
測量業	登録第(15)-1717号
建設コンサルタント	建01第453号
地質調査業	質04第1653号
補償コンサルタント	補05第189号
一級建築士事務所	一級 徳島県知事登録 第11085号
計量証明事業所	第75号・第76号・第86号

(5) 事業の規模

設立年月日 昭和41年6月1日

資本金 4千万円

売上高 15億8千万円

従業員数 104名

延べ床面積 2578㎡

(6) 事業年度

6月～翌年5月

(7) 認証登録対象範囲

全組織・全活動

環境経営方針

<基本理念>

- ・ 自然と人間の調和をめざし、企業活動の一環として社会的責任を果たすとともに地域社会の住みよい生活環境創りに貢献する。
- ・ 企業活動において、環境負荷の低減や環境に配慮した活動に取り組み、自主的、積極的な継続的改善に努める。
- ・ 社員の働く環境を継続的に改善し、健康で効率的に働ける職場を目指す。

<行動指針>

具体的に次のことに取り組むものとする。

- ① 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水使用量の削減
- ④ 社員の働く環境の改善の推進
- ⑤ 環境関連法規制や徳島県条例その他の遵守
- ⑥ 環境配慮型の設計
- ⑦ 会社周辺の道路・河川の清掃活動の推進
- ⑧ 環境経営方針を全従業員に周知徹底し、環境経営レポートにより公表する

制定日：2011年2月1日

改定日：2018年6月1日

代表取締役 藤田達也

環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標

中長期削減目標

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準年	目標	目標	目標
CO2 排出量	kg-CO ₂	122,785	122,441	122,100	121,764
電力使用量	kWh	155,213	155,213	155,213	155,213
燃料使用量	l	14,818	14,670	14,523	14,378
水使用量	m ³	1,182	1,182	1,182	1,182
廃棄物排出量	t	4.9	4.9	4.9	4.9
事務用紙使用量	t	3.3	3.3	3.3	3.3
環境配慮型の技術提案	件	20	20	20	20
地域貢献	回	7	7	7	7

※ ガソリンは社有車入れ替えによる燃費向上を加味し、削減率を毎年1%とした。

※ 電力使用量 調整後排出係数は、0.569Kg-CO₂/kWhとした。(令和4年度 四国電力)

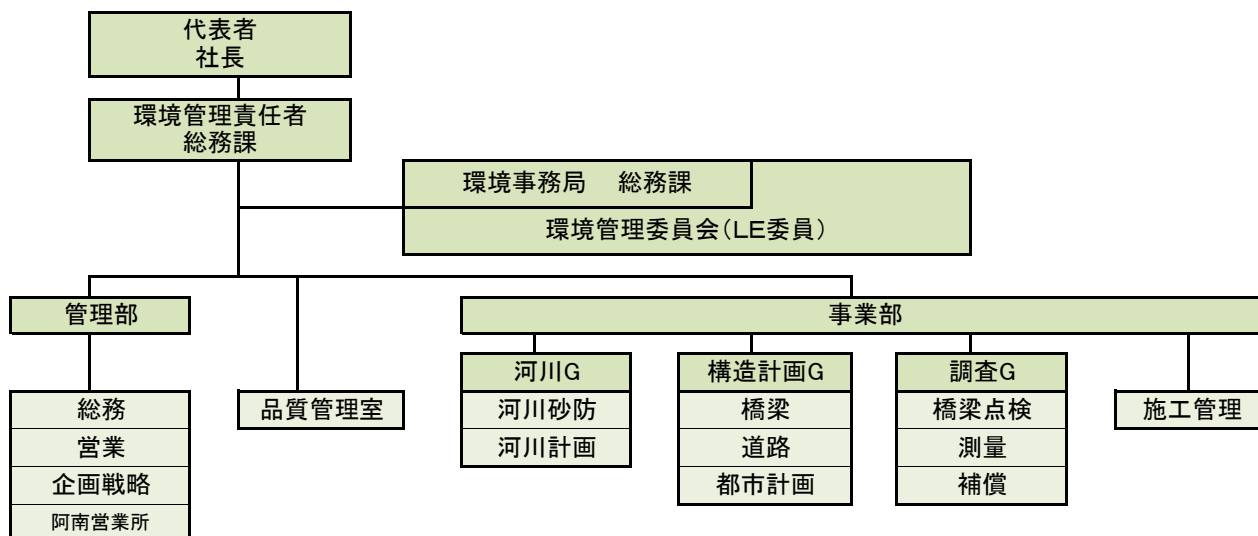
※化学物質の使用はないため、設定しない。

環境経営計画

期間： 2023年6月 ～ 2024年5月

項目		活動内容	責任者	取組内容
C O 2 排出量 削減	燃料使用量 削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行う
		適正な車両整備	総務課（環境管理責任者）	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行う
		ハイブリッド車の導入を促進	総務課（環境管理責任者）	社有車買い替えの際には原則としてハイブリッド車を選定する
		ワンボックスカーの活用	事業部	複数台の車での移動を減らすためワンボックスカーを適宜配置する
		Web会議 Web講習の積極的導入	企画戦略室	打合せ、講習会参加を可能な限りWebとし、移動に係る時間・燃料を抑制する
	電力使用量 削減	エアコンの温度設定（冷房 2 8℃ 暖房 2 0℃）	L E 委員	エアコンの温度設定をこまめに調節する
		屋上散水（夏期）による電力使用量節減	総務課（環境管理責任者）	屋上の散水により社屋内部の温度上昇を抑える。
		不要時の消灯	L E 委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施する
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施
		充電式電池を常備し、乾電池の使い捨てを廃止	総務課（環境管理責任者）	充電電池が使用可能な機器には可能
		照明の個別スイッチ設置（新社屋）	総務課（環境管理責任者）	照明に個別スイッチを設置し、不要な照明の点灯を抑制する
		人感センサーでの照明オンオフ	総務課（環境管理責任者）	通路等の照明は人感センサーでオンオフを行い消し忘れを抑制する
水使用量の削減		手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	L E 委員	適正化の指導
廃棄物排出量削減		分別ボックスの設置	L E 委員	ゴミの分別が適性に行えるよう、分別ボックスを設置する
		裏紙使用	L E 委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用する
事務用紙使用量削減		新しいワークフローシステムの導入により文書の電子化を促進	システム管理責任者	社内稟議書類等の紙での回覧を廃止し、電子申請とする
				ISO関係書類の電子化に取り組む
		基幹系情報システムの更新による省力化、省資源化		各種の台帳類をPDF化してシステム運用し、紙出力を減らす
環境配慮型の技術提案		環境配慮型の設計	部門長	設計業務の中で環境配慮型の工法を提案していく
		公共構築物の長寿命化に関する調査設計	部門長	点検・調査により公共構築物の長寿命化を図る
地域貢献（清掃活動ほか）		各部で、3 回／年 実施する	部門長	アドプトお遍路さん
		献血活動	総務課（環境管理責任者）	年 2 回の献血車
		NPO法人フードバンクとくしまへの支援	総務課（環境管理責任者）	食品の支援など
健康経営の実践		社員の健康維持と増進に関する取組み	総務課（環境管理責任者）	健康診断の受診及び 2 次検査の受診を勧める
		休日出勤・残業時間の削減	全社員	ノー残業デーの実施等を行い、残業時間の削減に努める
		新型コロナウイルス対策	全社員	5 類移行後の新たな行動基準策定

株式会社 フジタ建設コンサルタント 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境経営目標の実績集計を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの承認 ・是正、予防処置の勧告
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営目標の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境管理委員会（LE委員）	・特定された項目の運用管理及び記録の作成
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標の実績

本年度実績

項目	単位	基準年	2023年度			
		2021.6 ~ 2022.5	目標	実績	達成率	
			2023.6 ~ 2024.5		評価	目標/実績(%)
CO2 排出量	kg-CO ₂	122,785	122,100	124,158	×	98.3%
電力使用量	kWh	155,213	155,213	149,734	○	103.7%
7月～9月の平均気温	℃	26.5	—	27.8	—	—
7月～9月の購入電力	kWh	40,159	—	42,987		—
液化石油ガス	kg	30	—	23	○	—
ガソリン	l	14,818	14,523	16,763	×	86.6%
車両台数	台	22	—	22		
総走行距離	Km	255,151	—	277,559		
ガソリン消費量	L	14,818	—	16,763		
燃費	km / L	17.2	—	16.6		
水使用量	m ³	1,182	1,182	1,126	○	105.0%
廃棄物排出量	t	4.9	4.9	4.9	○	100.0%
事務用紙使用量	t	3.3	3.3	2.5	○	132.0%
環境配慮型の技術提案	件	20	20	20	○	100.0%
地域貢献	箇所	7	7	7	○	100.0%

電力使用量 調整後排出係数は、0.569Kg-CO₂/kWh とした。(令和4年度 四国電力)

- ・ガソリン使用量の増加により、CO₂排出量は達成率98.3%と目標を達成できなかった。
- ・ガソリン使用量増加については、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことを受け、顧客から対面での打ち合わせの要望が増えたこと、車両台数の増加、走行距離増加が要因である。

(4) 環境経営計画の取組結果とその評価

◎	大変よくできた
○	よくできた
△	不十分
×	できなかった

期間：2023年6月～2024年5月

項目		活動内容	責任者	取組結果	評価	評価 ・ 指示
CO2排出量 削減	燃料使用量 削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行った	○	更に周知し、継続する
		適正な車両整備	総務課 (環境管理責任者)	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行った	◎	計画どおり実施されている
		ハイブリッド車の導入を促進	総務課 (環境管理責任者)	4台入替え(PHEV含むハイブリッド車1台増加)、1台減 計19台／22台	◎	燃費向上に貢献
		ワンボックスカーの活用	事業部	複数台の車での移動を減らすためワンボックスカーを適宜配置する	◎	乗車定員増により効率化された
		Web会議 Web講習の積極的導入	企画戦略室	打合せ協議や講習会場への車の移動回数が減少した	◎	効果大 継続する
	電力使用量 削減	エアコンの温度設定(冷房28℃ 暖房20℃)	LE委員	エアコンの温度設定をこまめに調節した	○	デマンド監視が効果的であった
		屋上散水(夏期)による電力使用量節減	総務課 (環境管理責任者)	水道水を使いすぎないよう、こまめに調節しながら常に濡れている状態にした	◎	良くできており効果があった
		不要時の消灯	LE委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施した	○	夜間 チーム毎に区切った消灯が不十分
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施	◎	計画どおり実施されている
		充電式電池を常備し、乾電池の使い捨てを廃止	総務課 (環境管理責任者)	主にデジタルカメラやパソコンマウスの乾電池として利用された	○	更に周知し、継続する
		照明の個別スイッチ設置(新社屋)	総務課 (環境管理責任者)	照明に個別スイッチを設置し、不要な照明の点灯を抑制する	◎	効果大 継続する
		人感センサーでの照明オンオフ	総務課 (環境管理責任者)	通路等の照明は人感センサーでオンオフを行い消し忘れを抑制する	○	人感センサーの無いトイレの消灯忘れが目立つ
水使用量の削減		手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	LE委員	適正化の指導	◎	継続する
廃棄物排出量削減		分別ボックスの設置	LE委員		◎	継続する
		裏紙使用	LE委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用した	◎	ミสปrintの削減も目指すこと
事務用紙使用量削減		新ワークフローシステムの導入により文書の電子化を促進	システム管理責任者		○	電子化の効果が出ている 更に推進のこと
		基幹系情報システムの更新による省力化、省資源化	企画戦略室	台帳類をPDF化した 稟議書類を電子化した	◎	大幅な用紙使用量の削減ができた
環境配慮型の技術提案		環境配慮型の設計	部門長	業務を実施中	◎	継続する
		公共建築物の長寿命化に関する調査設計	部門長	業務を実施中	◎	継続する
地域貢献(清掃活動ほか)		各部で、3回／年 実施する	部門長	予定どおり実施した	◎	継続する
		NPO法人フードバンクとくしまへの支援	総務課 (環境管理責任者)	食品の支援など	○	
健康経営の実践		社員の健康維持と増進に関する取組み	総務課 (環境管理責任者)	運動実践、社内講習、社内スポーツ大会、保健指導等を実施	◎	継続する
		休日出勤・残業時間の削減	全社員	ノー残業デーの実施、代休・振替休日の取得を促進	○	働き方改革法案の完全適合を目指す
		新型コロナウイルス対策	全社員	消毒、三密の回避、アクリルパネル、空気清浄機の全室設置、新たなBCP策定	◎	

次年度の取組内容

期間：2024年6月～2025年5月

項目		活動内容	責任者	取組内容
C O 2 排出量 削減	燃料使用量 削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行う
		適正な車両整備	総務課（環境管理責任者）	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行う
		ハイブリッド車の導入を促進	総務課（環境管理責任者）	社有車買い替えの際には原則としてハイブリッド車を選定する
		ワンボックスカーの活用	事業部	複数台の車での移動を減らすためワンボックスカーを適宜配置する
		Web会議 Web講習の積極的導入	企画戦略室	打合せ、講習会参加を可能な限りWebとし、移動に係る時間・燃料を抑制する
	電力使用量 削減	エアコンの温度設定（冷房 2 8℃ 暖房 2 0℃）	L E 委員	エアコンの温度設定をこまめに調節する
		屋上散水（夏期）による電力使用量節減	総務課（環境管理責任者）	屋上の散水により社屋内部の温度上昇を抑える。
		不要時の消灯	L E 委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施する
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施
		充電式電池を常備し、乾電池の使い捨てを廃止	総務課（環境管理責任者）	充電電池が使用可能な機器には可能
		照明の個別スイッチ設置（新社屋）	総務課（環境管理責任者）	照明に個別スイッチを設置し、不要な照明の点灯を抑制する
		人感センサーでの照明オンオフ	総務課（環境管理責任者）	通路等の照明は人感センサーでオンオフを行い消し忘れを抑制する
水使用量の削減		手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	L E 委員	適正化の指導
廃棄物排出量削減		分別ボックスの設置	L E 委員	ゴミの分別が適性に行えるよう、分別ボックスを設置する
		裏紙使用	L E 委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用する
事務用紙使用量削減		新しいワークフローシステムの導入により文書の電子化を促進	システム管理責任者	社内稟議書類等の紙での回覧を廃止し、電子申請とする
				ISO関係書類の電子化に取り組む
		基幹系情報システムの更新による省力化、省資源化		各種の台帳類をPDF化してシステム運用し、紙出力を減らす
環境配慮型の技術提案		環境配慮型の設計	部門長	設計業務の中で環境配慮型の工法を提案していく
		公共構築物の長寿命化に関する調査設計	部門長	点検・調査により公共構築物の長寿命化を図る
地域貢献（清掃活動ほか）		各部で、3 回／年 実施する	部門長	アドプトお遍路さん
		献血活動	総務課（環境管理責任者）	年 2 回の献血車
		NPO法人フードバンクとくしまへの支援	総務課（環境管理責任者）	食品の支援など
健康経営の実践		社員の健康維持と増進に関する取組み	総務課（環境管理責任者）	健康診断の受診及び 2 次検査の受診を勧める
		休日出勤・残業時間の削減	全社員	ノー残業デーの実施等を行い、残業時間の削減に努める
		新型コロナウイルス対策	全社員	5 類移行後の新たな行動基準策定

環境関連法規制等の遵守状況

最新版確認日：2024年6月1日

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

遵守評価日：2024年6月1日

適用される法規制	要求事項	遵守状況
環境基本法	・公害防止及び自然環境の保全措置 ・再生資源等の利用 ・環境の保全に関する施策への協力	遵守
グリーン購入法	可能な限りの環境物品の選択	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガス排出抑制のための措置	遵守
環境配慮事業促進法	事業活動に係る環境情報の提供	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・委託契約締結、許可証の確認 ・マニフェストの交付と5年間の保存 ・マニフェスト交付実績の報告	遵守
特定家庭用機器再商品化法	特定家庭用機器の適正処分	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品の適正な運用（定期点検及び簡易点検の実施・記録・廃棄など）	遵守
浄化槽法	浄化槽の適正な運用（保守点検・清掃・法定点検の実施など）	遵守
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」と、気候変動の影響に適切に対処する「適応策」を両輪とした気候変動対策	遵守
徳島県生活環境保全条例	騒音発生施設の設置届	遵守
徳島県環境基本条例	廃棄物の適正な処理及び環境への負荷低減のための努力	遵守
徳島市公害防止条例	公害防止のため必要な措置と、市が行う公害防止に関する調査及び施策への協力	遵守
北島町公害防止条例	公害防止のため必要な措置と、町が行う公害防止に関する調査及び施策への協力	遵守
消防法	消防用設備等の点検と報告（火災報知器）	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

環境管理責任者の報告

- ① CO2排出量については、達成率98.3%と目標を達成できなかった。
ガソリン消費量の増加が大きな要因となった。
- ② 上記にかかわる、電力使用量については達成率103.7%と目標を達成できた。
引き続き電力使用量削減の取り組みを継続する。
- ③ ガソリン消費量は達成率86.6%と目標を達成できなかった。これは新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせたことにより、顧客から対面での打ち合わせの希望が増加したこと、7月～9月の平均気温の上昇等によりガソリン使用量が増加、及び燃費の悪化が要因である。
WEBでの打ち合わせが可能なケースでは、WEB打ち合わせを積極的に実施するようにする。
ハイブリッド化の取組を引き続き継続する。
- ④ 上水使用量については、達成率105.0%と目標を達成できた。
- ⑤ 廃棄物排出量については、達成率100.0%と目標を達成できた。
- ⑥ 事務用紙使用量については、達成率132.0%と昨年に引き続き目標を達成できた。ASTRUXの導入、書類の電子化、ノートパソコンの活用等の取組の効果が出ており、引き続き電子化を進めていく。
- ⑦ 環境配慮型の技術提案についても、今年度は目標達成率130.0%(6件増)と件数を増やし、目標を達成することができた。
- ⑧ 地域貢献活動は、清掃(アドプト)・献血への協力・フードバンクとくしまへの食品支援など、積極的に取り組んでいる。
次年度はさらに積極的に活動を行う。
- ⑨ 健康経営への取り組みも積極的に推進し、社員の健康を考えた経営方針が評価され、経済産業省・日本健康会議が主催する「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」において、2017年～2020年と4年連続に引き続き2021年～2024年は「健康経営優良法人2024(中小規模法人部門(ブライト500))」に4年連続認定された。
- ⑩ 緊急事態への対応訓練(避難訓練)を実施した。

代表者による評価と見直し・指示

【評価】

上記報告より、全社員に寄る環境活動は順調に成果を挙げていると評価する。

【見直しの必要性】

環境経営方針:無し

環境経営目標:無し

環境経営計画:無し

実施体制及びEMS(環境経営システム):無し

【指示】

- ① 当社業務範囲は、オフィス及び現場に於ける種々の環境負荷要因があり、引き続き広範な環境活動に取り組んでほしい。
- ② 活動状況の一層の見える化を行い、全社員の協力のもとに取組みの充実を図ってほしい。
- ③ 健康管理を経営視点で考え、戦略的に取り組む健康経営を推進し、生活習慣病対策、残業時間の縮減、休日出勤の制限等様々な施策を実施しているところであり、社員の健康がひいては環境経営につながるものと確信する。感染防止対策をしつつ「社員の健康は会社の健康」をスローガンにさらに取り組みを進めてもらいたい。
- ④ 公共構造物の長寿命化に関する調査設計業務は社会全体の省資源化に資するものであり、業務の目的を十分に理解のうえ進めていってほしい。
- ⑤ ガソリン使用量が目標達成できていない。今後もハイブリッド車の積極的導入を進めるとともに、業務量や業務内容により対応できない場合もあるが、WEB打合せが可能であれば、積極的にWEB打合せを実施してほしい。

評価日 : 2024年6月10日

代表者名: 藤田達也

環境配慮型の設計・調査業務

1	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	大津田川環境調査業務
2	西部総合県民局 県土整備部(美馬庁舎)	美馬塩江線環境調査業務
3	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	北沖洲線環境調査業務
4	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	冷田川環境調査業務
5	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	福井川環境調査業務
6	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	園瀬川環境調査



河川環境調査業務



河川環境調査業務



小学校環境学習

公共構築物の長寿命化に関する調査設計業務

1	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	中島港海岸 海岸保全施設長寿命化計画策定業務
2	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	今切港（旭野地区）他 港湾施設点検診断業務
3	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	鳴門公園線他 橋梁塗膜調査
4	西部総合県民局 県土整備部(美馬庁舎)	曾江谷他長寿命化計画策定
5	徳島県建設技術センター	徳島引田線他 橋梁点検業務
6	農林水産部 東部農林水産局(徳島庁舎)	北島排水機場長寿命化
7	阿波市	阿波市橋梁点検
8	吉野川市	吉野川市橋梁点検
9	北島町	北島町橋梁点検
10	板野町	板野町橋梁点検
11	藍住町	藍住町橋梁点検
12	勝浦町	勝浦町橋梁定期点検
13	牟岐町	牟岐町橋梁長寿命化修繕計画
14	勝浦町	勝浦町橋梁長寿命化修繕計画



橋梁点検（橋梁点検車）



橋梁点検（船上）



橋梁点検（地上）



橋梁点検（梯子）



海岸保全施設長寿命化計画



灯浮標調査

清 掃 活 動

参加している清掃活動

清掃活動の内容	場所	実施回数
「アドプト・プログラム吉野川」 (徳島河川国道事務所)	今切川 左岸 応神大橋から下流へ600m区間	毎年 年/3回
「ボランティア・サポート・ プログラム徳島」 (徳島河川国道事務所)	一般国道11号6.30kp～3.90kp上下 徳島市川内町平石夷野～ 徳島市川内町加賀須野	毎年 年/3回
「徳島県OURロードアドプト事業」 (徳島県東部県土整備局)	県道 徳島鳴門線 (北島町鯛浜地先 0.13Km)	毎年 年/10回程度
「北島町アドプトプログラム」 (北島町)	北島町鯛浜字西ノ須75-5番地地先～ 北島町鯛浜字大西52-2番地地先 北島町鯛浜字大西55-2番地地先～ 北島町鯛浜字大西120-1番地地先 水神社遊び場	毎年 年/3回



「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジに登録しました！

「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジとは、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、自らが主体となって共創しながら未来に向けて行う具体的な活動のことです。

わが社の「共創チャレンジ」は、以前から取り組んでいる「フジタアドプトお遍路さん」です。

地域の美化活動は、地球規模の美化活動へとつながっていきます。

わが社の共創チャレンジ

みなさんも「TEAM EXPO 2025」のメンバーです。

見るだけじゃない、あなたが主人公になる万博がはじまります。

WHAT'S TEAM EXPO 2025 ?

TEAM
EXPO
2025

いどもう。みらいに。
“共創チャレンジ”



フジタアドプトお遍路さん～アドプトお遍路さん
で美しい故郷を未来へつなげよう！～ Fujita
Cleanup Pilgrimage ~ Maintain our beautiful
hometown through a cleanup pilgrimage! ~

共創チャレンジ

2024.06.12



法人

チーム名	株式会社フジタ建設コンサルタント
共創メンバー	株式会社フジタ建設コンサルタント
現在の活動地域 国/地域	日本/徳島
活動テーマ	健康・医療（ライフサイエンス、ヘルスケア）／地域活性化／海洋、水／生物多様性、自然環境、生物／コミュニティ・まちづくり、住まい／働き方改革、健康経営、ワークライフバランス／大阪・関西万博の内容周知、テーマや意義の発信



「健康経営優良法人認定制度」は、2017年に経済産業省と日本経営会議によって開始された制度で、単純に業績が優れているというだけでなく、従業員の健康増進をふまえて経営に取り組む姿勢を持つ法人を世間に広めるという目的で始まりました。

当社は2017年に「中小規模法人部門」において全国で95社（その後223社が追加認定）、四国内では2社のうち選ばれ、今年で8年連続の認定になります。2021年度からその中でも特に優良な上位500法人に対して、新たに（ブライト500）という冠が付加されることになり、当社は中小規模法人部門に認定された16,733法人の中から、4年連続で（ブライト500）に選定されました。

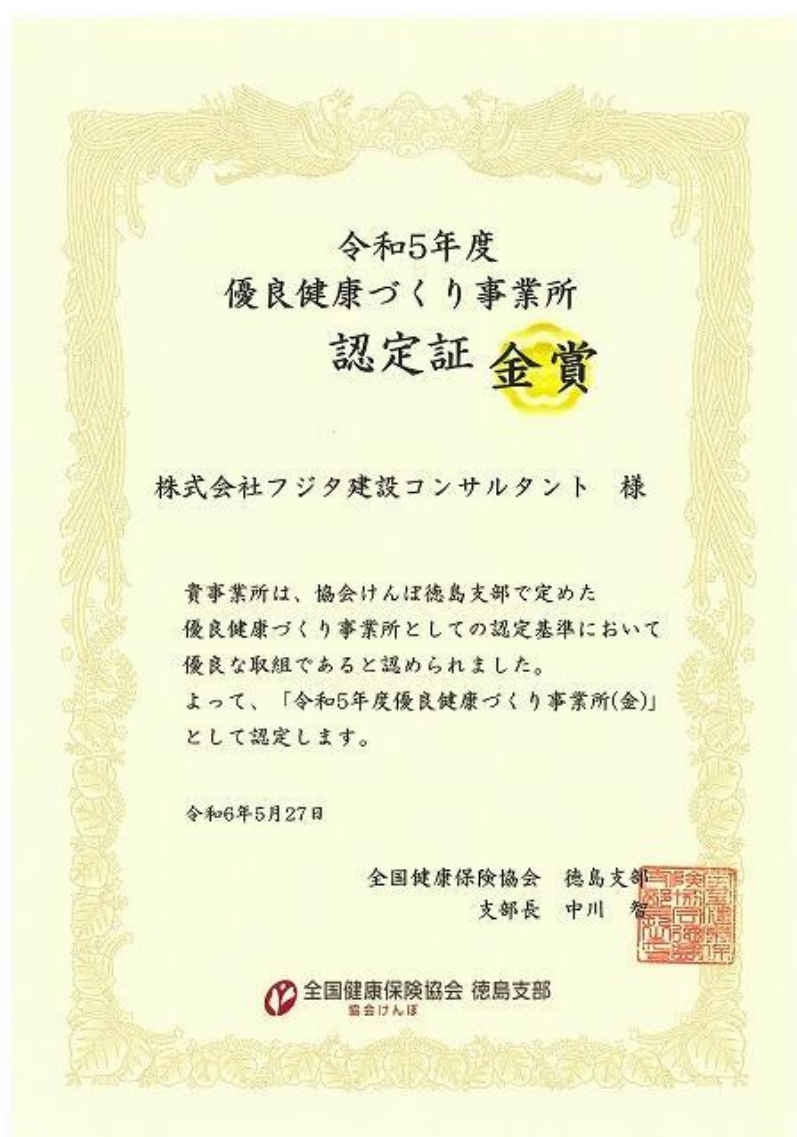
当社は今後もこの冠に恥ずかしくないよう、社員の健康と幸せを守るためにあたりまえのことを継続し、社員の健康づくりに積極的に取り組みながら、柔軟な働き方ができる企業へ、社員とともに歩んでいきます。



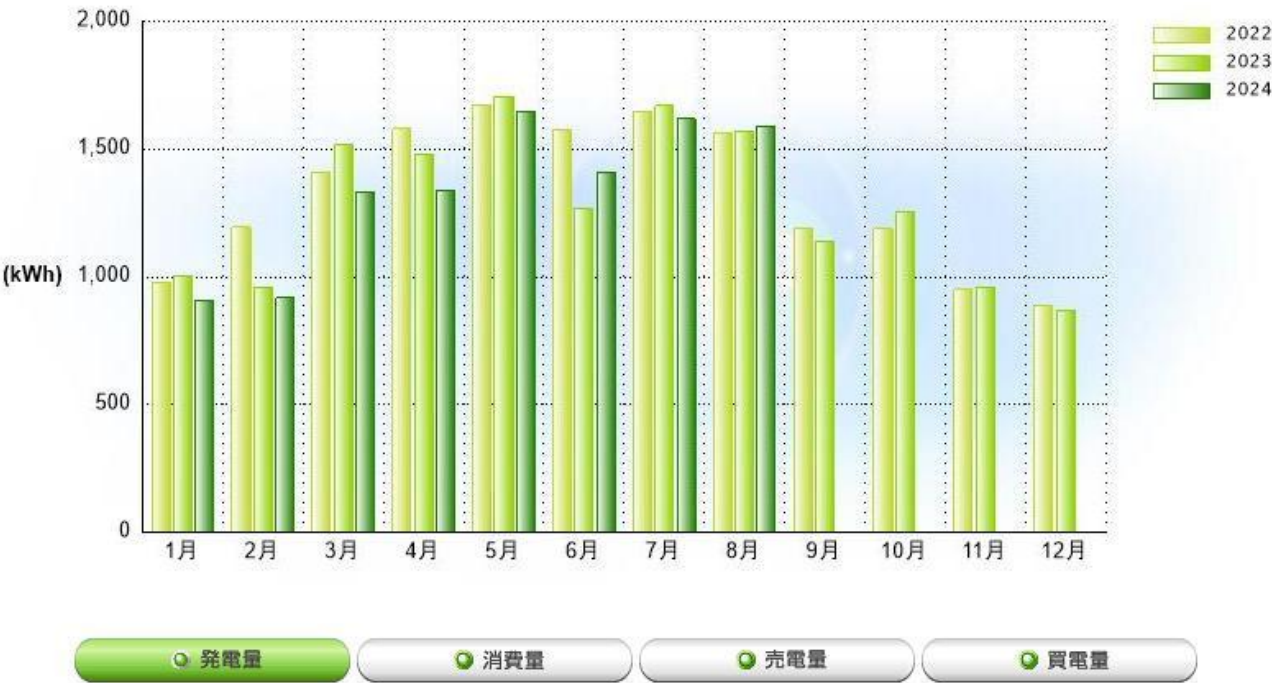
優良健康づくり事業所

令和5年度優良健康づくり事業所「金賞」

全国健康保険協会徳島県支部の「優良健康づくり事業所認定制度」において、8年連続で「金賞」を認定をしていただきました。



太陽光発電施設



2024 年 5 月 の診断レポート			
			お客様宅のシステム容量は 11.8 kW
お客様宅の発電量[kWh] ()内は昨年値	診断完了日(*1)	システムの状況	環境貢献度(*2)
1,650 (1,706)	2024.6.1	診断の結果、太陽光発電システムは正常に稼働しています。	CO2排出削減量 834.0 kg-CO2 成木の吸収量 59.5 本分 